

日の出の国の王に言奉る

黒田インターナショナル

黒田 毅

真実を自己とし、世界との対話を得ることは、その融和と友好における未来を行うことである。誠実さは常に前進し、未来を与えるのである。

自国民に限定せず、世界諸国の人々との対等な自己は、その親切と寛容さにおける光がまさに日の出の国における王としての自己である。

誤りへ厳然と自己を求め、その可能性は世界と共有し、同じ未来を志すのである。

差別や排除でない自己の寛容さは、世界の統一への世界が自己を与え、自らの言葉は世界への新しい未来を与える。

人々の眼に真実を知り、世界への奉仕は、その彼らへの未来を与えるものである。

自己は、常に誠実であり、世界と未来への熟慮は、その新しい関係を世界求めるものである。